

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により被害を受けられた皆様、さらに福島第一・第二原発事故により被害を受けている皆様に、心よりお見舞い申し上げます。安全に安心して、ともに学び、ともに働き、ともに遊べる日が、一日も早く戻りますことを、心から願っております。

## 東北の地域スポーツクラブの仲間たちに、義援金と支援物資を送ろう！

### 目的

浦スポでは、被災した東北地方の地域スポーツクラブを支援するため、義援金と支援物資を募ることといたしました。

日本全体で、被災地を総合的に支援していくことは大切なことです。皆さんも、すでにいろいろなところで、義援金や支援物資等に協力されていることと思います。

そんな中、クラブでは、同じ地域スポーツクラブの仲間への支援を行うこととしました。

震災発生後、連絡がとれないクラブもありましたが、じょじょにですが、福島や宮城、岩手のクラブから、連絡が届くようになりました。

クラブ設立間もない頃に交流戦を行ったことがある塩釜FC 理事長の小幡さんから、「これまでの震災と違い、津波は全てを失わせてしまった。クラブの会費はおろか、用具を用意できない家庭もたくさん出てくる。子どもたちがスポーツを始めたくても、始められない状況になってしまう。スポーツをあきらめてしまう。スポーツの灯を地域から消したくない 子ども達の生活からスポーツをなくしたくない。」という声が聞こえてきました。

同じ志を掲げスポーツを広げてきた仲間たちを支援し、近い将来に一緒にスポーツを楽しむことができるようになることを願っています。ぜひ、ご協力ください！

### 義援金

各プログラムの会場や、クラブハウスで義援金を募っています。指導者やスタッフが募金箱等を持参しますので、ご協力いただければと思います。

ただ、皆様もすでに、いろいろなところで募金等をされていらっしゃると思います。義務ではありませんので、無理のない範囲でお願いします。

### スポーツ用品

ラケット、ジャージ、スパイクなど新品、中古を問いません。

衣類関係は必ず洗濯をした状態で、気持ちよく使っていただける状態のもの、用具も使用上問題のない状態のものをお願いします。着用済みのサッカーソックス等はお断りします。

こちらも、クラブ事務所や、各プログラムの現場でスタッフにお渡しください（程度の悪い物については、お断りすることもあることをご理解ください）

また、サッカー広場のネーム入りシャツですが、ヒロスポーツさんと、プリント業者さんのご厚意により、格安でネームをはがしていただけることになりました（被災地にそろいで送りたいということで、ご協力いただけることとなりました）。

同じシャツを送れば、チームユニフォームとして使ってもらうことも可能となります。ご協力ください。

### 文房具

新学期になれば、子ども達の学校が始まりますが、相馬市では、避難所でもボランティアの講師による勉強会などが開催されつつあること、しかし、文房具がないことが伝わってきました。

色鉛筆や絵具や、消しゴムやシャーペン、ノート等・・・あまり使わないで、しまってあったものなどをお願いします。（使いかけで短くなった鉛筆などをご遠慮ください）クラブ事務所や、各プログラムの現場でスタッフにお渡しください。



## 双葉町をサポートします！

福島県双葉町から、さいたまスーパーアリーナに2,000人近い町民の方々が避難されてきたことは、皆さんもご存じだと思います。

アリーナオープン前夜、サッカー会員のMLにボランティア参加を呼び掛けたところ、何人かの方がスーパーアリーナにかけつけてくださいました。

NPOの横の連携、ネットの威力で定員以上のボランティア希望者が集まり、参加できなかった方も多数いらっしゃいました。

当クラブからは、サッカー生涯会員の荻野さん、塩野副理事長などが実際にご活躍いただいたと伺っています。おつかれさまでした。

その後も、避難所生活で、運動不足になり健康上支障がでてはいけないと考え、当クラブの戸苅理事長が、高齢者の運動指導などについて、関係部署と相談をしています。

4月からは、加須市にある騎西高校（廃校となり校舎が残っている）に移動されることになりましたが、加須には、戸苅理事長がスポーツ研究所長であった平成国際大学（HIU）があります（サッカー広場にもHIUのサッカー部から参加してくれているコーチがいます）

その関係もあり、引っ越し後も大学とクラブで協力して、双葉町からこられた方々の、健康づくりや子ども達のスポーツのお手伝いをしていきたいという話が出ています。

この双葉町には、双葉ふれあいスポーツクラブという会員数700名ほどの、福島県内では老舗の地域スポーツクラブがあります。

ふれあいスポーツクラブの方々も、多数、埼玉に避難されてきているようです。これをきっかけに交流が始まり、末永くお付き合いができるようになると良いなと思います。

どうぞ、みなさまご協力ください。

## 体育館休館・ナイター自粛について

現在、市の指示により、駒場体育館は4/17日まで閉館することとなっています。4/18日以後の開館については、今後、市内部での会議によって決まります。

また、小中学校のグラウンドや体育館などの夜間使用は全て中止になっています。節電を考えてのことだと思いますが、できれば、せめて子どもたちの活動だけでも早い時期に可能となることを望みます。

東北への支援は大切です。痛みを分かち合うことも必要です。でも、みんながみんな活動を停止してしまっはけません。子ども達の元気な声が、社会を明るくします！

ふだんの暮らしの中で、必要度を少しずつ見直し、節電できるところでは、しっかりと節電して、協力していければ良いと思います。

## 浦スポ・広場プロジェクト

### 次回会議予定 4月上旬！

サッカー以外の会員の方も参加しています！  
子育て中のお父さん！ 子どもと一緒に芝の上で球蹴りすることを実現しましょう！  
詳しくは、事務局までお問い合わせください

#### 【目的】

- ・クラブで管理運営できるグラウンドやテニスコートを整備すること
- ・より多くの子ども達、親子、大人たちの交流が行えるようにすること

#### 【活動内容】

- ・使い方をかんがえたり、一緒に行政にお願いをしたり、もしかしたら、一緒に草刈りをしたり・・・
- ・できるだけ多くの賛同者を得ることが、実現にむけた力となります。
- ・子ども達に広場を！ そここで一緒に遊びたい！と考えた方、ぜひご参加ください。

### スポーツで元気な街を！

・・・<お知らせ他>・・・

- ・サッカー育成の指導を主に担当していた大藤君が、このたび退職することとなりました。地元（春日部方面）で、新たな活躍の場を求めます。お元気で！
- ・クラブ20周年の2010年度、いろいろな行事の開催でバタバタとあっという間に終わってしまいました。イベントをこなすのが精いっぱい、記念誌の編集が終わりませんでした。
- ・以前、浦スポに在籍していた方々からも寄稿いただいております。まだ、間に合いますので、皆さんも、ぜひ一言でも二言でもご投稿ください。
- ・新年度から、新たなスタッフや指導者の方も参加されることとなりますが、次号であらためてご紹介することとします。
- ・スポーツができることのありがたさ、平和であること、安全であることのありがたさに、あらためて感謝し、この環境を守っていくことが、今、ここにいる大人たちの役目なのだと思えます。



2010年度、浦和スポーツクラブでは、総合型地域スポーツクラブ活動助成を受けて活動しています。